

日本台湾学会第九回学術大会プログラム

(2007.4.24現在)

日時： 2007年6月2日（土曜日）10:00～
場所： アジア経済研究所および
（財）海外職業訓練協会（OVTA）

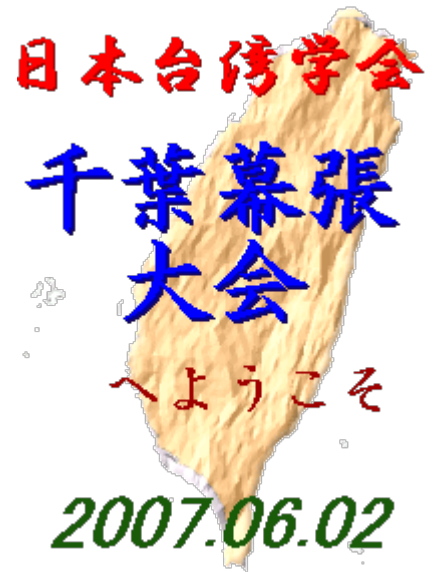
〒261-8545
千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2（アジア経済研究所）

〒261-0021
千葉県千葉市美浜区ひび野1-1（海外職業訓練協会(OVTA)）

後援： 財団法人交流協会、日本貿易振興機構アジア経済研究所（予定）

参加費： 2000円（できるだけ事前に振り込んで下さい。
振り込みの期限は5月18日）

問合せ先： 佐藤幸人(satohyk@ide.go.jp)



スケジュール：

受付開始：9:30 （アジア経済研究所正門入って左手の玄関ロビー。15時以降の受付は海外職業訓練協会(OVTA) レセプションホール「渚」前）
午前の部：10:00-11:50 （アジア経済研究所）
昼休み：11:50-13:20
午後の部：13:30-15:20 （アジア経済研究所）
記念講演：15:30-17:00 （海外職業訓練協会(OVTA) レセプションホール「渚」）
会員総会：17:05-17:35 （海外職業訓練協会(OVTA) レセプションホール「渚」）
懇親会：18:00-20:00 （海外職業訓練協会(OVTA)）

<分科会報告>

第1分科会 「内地から台湾へ、台湾から内地へー日台知識人の帝国内移動による思想形成」

10:00-11:50（休憩） 13:20-15:10

（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者：橋本恭子（一橋大学大学院）

座長：松永正義（一橋大学）

報告者

橋本恭子（一橋大学大学院）「『南』と出会った知識人—島田謹二と明治ナショナリズムの研究」

楊智景（お茶の水女子大学大学院）「台湾表象か〈日本〉探しか—徳富蘇峰『台湾遊記』を中心に」

唐顥芸（神戸大学大学院）「王白淵の東京留学について—『人間文化の出発』から『蕨の道』まで」

黄毓婷[※女偏に亭]（東京大学大学院）「地方は出たけれど—翁鬧の『農村小説』について」

コメンテーター

松永正義（一橋大学）、河原功（成蹊学園）

第2分科会 「台湾における政治と経済の相互作用—東アジア比較の観点から」

10:00-11:50

（午前、1セッション企画）

企画責任者：若畑省二（元信州大学）

座長：川上桃子（アジア経済研究所）

報告者

呉博群（東京大学大学院）「比較政治経済学の視点から見る90年代以後の台湾の金融自由化」

若畑省二（元信州大学）「権威主義体制期台湾における農村からの支持調達のメカニズム—日本・韓国との比較」

コメンテーター

大西裕（神戸大学）、松本充豊（長崎外国語大学）

第3分科会 「1960年代台湾の再検討－内政改革と米台関係」

13:20-15:10

(午後、1セッション企画)

企画責任者：前田直樹（広島大学）

座長：清水麗（国土舘大学）

報告者

薛化元（政治大学） 「1960年代の国民党政治改革の歴史的考察」

前田直樹（広島大学） 「ケネディ政権期の台湾政策」

コメンテーター

若林正文（東京大学）、石井修（明治学院大学）

第4分科会 「金門島研究の現状と課題」

10:00-11:50

(午前、1セッション企画)

企画責任者：川島真（東京大学）

座長：貴志俊彦（神奈川大学）

報告者

江柏煒[※火偏に章]（國立金門技術學院） 「台湾研究の新版圖：以跨學科視野重新認識"金門學"之價值」

川島真（東京大学） 「僑郷としての金門島と『僑刊』史料の可能性－1920－40年代」

コメンテーター

陳来幸（兵庫県立大学）、村上衛（横浜国立大学）

第5分科会 「環境をめぐる政策と運動」

13:20-15:10

（午後、1セッション企画）

企画責任者、座長：寺尾忠能（アジア経済研究所）

報告者

星純子（東京大学大学院）「学習としての台湾社会運動－高雄県美濃鎮における民間団体職員
の動向から」

萩原豪（立教大学）「環境政策とエネルギー政策の交点としての原子力問題－環境教育の視
点からの考察」

コメンテーター

岸川毅（上智大学）、岡田充（共同通信）

第6分科会 自由論題報告1

10:00-11:50

座長：笠原政治（横浜国立大学）

報告者

合津美穂（東京都立大学大学院）「漢族系台湾人高年層の日本語観－戦後における日本語の
使用をめぐるって」

コメンテーター

松金公正（宇都宮大学）

報告者

中村平（大阪大学非常勤講師）「到来する暴力の記憶の分有—先住民族タイヤルと日本の脱植民化（decolonization）を考える」

コメンテーター

下村作次郎（天理大学）

第7分科会 自由論題報告2

10:00-10:55

座長：山本真（筑波大学）
報告者

石川誠人（立教大学大学院）「雲南省反攻拠点化計画の構想と挫折—アメリカの許容下での『大陸反攻』の追求」

コメンテーター

松田康博（防衛省防衛研究所）

第8分科会 自由論題報告3

13:20-15:10

座長：やまだあつし（名古屋市立大学）
報告者

許佩賢（新竹教育大学）「『愛郷心』と『愛国心』の交錯—1930年代台湾における郷土教育運動について」

コメンテーター

宮崎聖子（福岡女子大学）

報告者

楊子震（筑波大学大学院）「終戦直後の在日台湾人処遇問題に関する一考察——『渋谷事件』を中心に」

コメンテーター

加藤聖文（人間文化研究機構）

○アジア経済研究所図書館ツアーを11時、12時30分、14時30分の計3回行います（詳しくは送付した案内を参照）。

○記念講演 15:30-17:00

題目：「當代台湾族群概念的內涵與起源」（講演は中国語、通訳：三澤真美恵会員）
講演者：

王甫昌博士（中央研究院社会学研究所副研究員）

社会学博士（米・アリゾナ大学）。台湾の「族群問題」研究における第一人者。主要著作に『当代台湾社会的族群想像』（2002年、国立台湾大学／2003年、群学出版社）、最近の論文に「由『中国省籍』到『台湾族群』：戸口普查籍別類属転変之分析」『台湾社会学』（2005年6月）などがある。

会場：海外職業訓練協会(OVTA) レセプションホール「渚」

○会員総会 17:05-17:35 会場：海外職業訓練協会(OVTA) レセプションホール「渚」

○懇親会 18:00-20:00 会場：海外職業訓練協会(OVTA)

懇親会費は一般6000円、学生4000円。事前振り込みの場合、一般5000円、学生

3500円。事前の振り込みの期限は5月18日

[このページの先頭へ](#)

[日本台湾学会ホーム](#)